

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2011-24783(P2011-24783A)

【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-006

【出願番号】特願2009-173759(P2009-173759)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 K

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月22日(2013.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投入されたメダルをメダル出口へ向けて転動させるメダル通路と、前記メダル通路の前記メダル出口側に設けられて前記メダル通路を転動するメダルを検出する第1メダル計数センサ及び第2メダル計数センサと、前記メダル通路を転動するメダルを阻止するプロッカとを含むメダルセレクタと(以下、前記プロッカが前記メダルを阻止している状態を「阻止状態」と、前記メダルを阻止していない状態を「非阻止状態」と表記する)、

前記第1メダル計数センサ及び第2メダル計数センサの出力に基づき投入されたメダルの枚数を計数するメダル計数部と、

前記第2メダル計数センサの出力に基づき不正行為を判定する判定部と、

遊技に応じてメダルの投入の可否を判定するとともに、メダルの投入が可能であると判定したときに前記プロッカを前記非阻止状態に制御し、メダルの投入不可と判定したときに前記プロッカを前記阻止状態に制御するメダル投入可不可判定部と、を備え、

前記第1メダル計数センサ及び前記第2メダル計数センサは、前記プロッカよりも前記メダル出口側に前記メダル通路を転動するメダルの進行方向に沿って並べて設けられ、前記第2メダル計数センサは、前記第1メダル計数センサよりも前記メダル出口側に設けられており、

前記メダル計数部は、前記プロッカが前記非阻止状態に制御されているときに前記第1メダル計数センサ及び前記第2メダル計数センサの出力に基づき投入されたメダルの枚数を計数し、

前記判定部は、前記プロッカが前記阻止状態に制御されているときに前記第2メダル計数センサの検出信号を受けたことにに基づき不正行為と判定することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記プロッカが前記非阻止状態から前記阻止状態に制御されたときから予め定められた時間において、前記判定部が前記判定を行わないようにするための遅延手段を備えることを特徴とする請求項1記載の遊技機。